

「ホッとエコビルマル」が省エネ大賞を受賞

平成19年度第18回省エネ大賞(主催:経済産業省)の資源エネルギー庁長官賞を、当社エネルギー応用研究所がダイキン工業(株)殿、北海道電力(株)殿、東北電力(株)殿、北陸電力(株)殿、中国電力(株)殿と共同で開発した寒冷地向け高効率ビル用マルチエアコン「ホッとエコビルマル」が受賞しました。

受賞した「ホッとエコビルマル」は、寒冷地域における小・中規模ビルの建物を対象とした冷暖房空調機で、新開発の二段圧縮方式を採用することにより、低外気温度における暖房効率を大幅に向上し、業界最高のエネルギー消費効率を達成した点が評価されました。

当社管内の寒冷地域(長野市)における事務所ビル(延床面積3,000m²)での試算で、年間CO₂排出量は約9%削減(ダイキン工

業(株)殿製従来機比)できる結果が得られ、地球温暖化防止に貢献します。

なお、「ホッとエコビルマル」はダイキン工業(株)から発売しています。



開発・評価を担当した永松研究副主査、櫻場チームリーダー、徳田研究員(左より)

「ハイエフヒーポンの開発」が日本エネルギー学会の進歩賞を受賞

平成19年度日本エネルギー学会表彰 進歩賞(技術部門)を、当社エネルギー応用研究所が(株)神戸製鋼所殿、東京電力(株)殿、関西電力(株)殿と共同開発した超高効率空冷スクリュヒートポンプチラー「ハイエフヒーポン」の開発業績が受賞しました。

空冷スクリュヒートポンプチラーは、ビルや工場など様々な用途に用いる冷暖房用の熱源機で、スクリュ圧縮機を用いて冷水や温水を作る機械です。

本業績は、最新鋭の高効率化技術により、空冷ヒートポンプチラーとして業界最高のエネルギー消費効率を達成した点が評価されました。

床面積7,500m²の事務所ビルでの試算では、最新式のガス吸収式冷温水機のシステムと比べても、年間CO₂排出量を53%削減できる結果が得られ、地球温

暖化防止に貢献します。

なお、「ハイエフヒーポン」は(株)神戸製鋼所から発売しています。



開発を担当した三摩主任(現 名古屋支店 法人営業部)、林研究員(左より)